

びがいのトビ ラ



【特集】市民インタビュー

もっと住みやすい街に

住民生活を支える担い手

はねさくらまき
羽三協

- 市民インタビュー P2
- 令和5年度決算審査 P4
- 審議した主な議案
市長提出議案 P10
- 議案の議決結果 P12
- 市政について問う
《一般質問》 P14
- 議会からのお知らせ
タウンミーティングを
開催します P22
- 議会活動報告 P23

No.148

令和6年(2024年)
11月1日発行
(通巻257号)

も

っと住みやすい街に

住民生活を支える担い手

羽三協
はねさんきょう

市内には、さまざまな活動を通じて市民の暮らしを支えている方が大勢います。議会として、そのような方々の活動を知り、また市民の皆さんにもご紹介しながら、議会の役割を考えていきたいと思えます。今回は環境まちづくり委員会が担当しました。

【表紙の写真】(令和6年8月撮影)
大型重機の前で作業着姿の羽三協の皆さん



羽三協は市内の建設業(羽村市指定上下水道工事店組合、羽村市電気工事業組合、羽村市建設防災協力会、その他)の有志26社で組織。会員相互の親睦と技術向上、福祉の増進を図り、地域に貢献することを目的としています。

羽三協とは

並木 功真さん(会長)

(鉄工・上下水道工事業・72歳)



市内の上
下水道、電
気、土木・
建設業者の
協力団体で

す。会員はふだん個別で仕事をしています。以前は、はむら夏まつりに武者行列で参加していました。今は、「はむら市民と産業のまつり」で、親子向けの射的コーナーを開設し、売り上げの一部を社会福祉協議会に寄付するなど、住民とのつながりを大切にしています。

家業は、上下水道工事を行う、並木鉄工所の3代目。住民生活に欠かせない給・排水設備を設計・施工する仕事をしています。

住民生活を支える

皆さんの仕事は

丸山 千春さん

(上下水道工事業・40歳)



私は並木の娘で、父の仕事の間近で見学育ちました。

結婚後も父に指導を受けながら、配管工事などを手伝っています。

◀はむら夏まつりでの武者行列



▲はむら市民と産業のまつりでは射的ゲームが人気

井上 英章さん

(1級土木施工管理技士・54歳)



東京都や羽村市の道路、河川、上下水道等の工事を請

け負う株式会社村尾重機の工事部長です。会社は三多摩管工事協同組合にも加入し、能登半島地震の災害復旧支援で社員が2週間、上水道の復旧作業をしました。

黒山 瞳さん (建設管理・23歳)



身近に建設業に携わる者があり、この業界に興味を持ち

ました。入社3年目で、井上部長の下で施工管理などを行っています。社内の制度を活用し、バックホーなど重機の運転資格を取るため勉強中です。

天野 篤さん

(電気・消防設備工事・48歳)



電気、空調、消防設備などの工事を行う、株式会社セ

イショウの取締役です。社員には、様々な資格取得を支援しています。資格取得により、それぞれ業務範囲を広げています。

山田 幸奈さん

(消防設備工事・保守・37歳)



株式会社セイショウの社員です。消防設備士の資格を持つ

ち、火災報知機や消火栓の保守点検が仕事です。公共施設や住宅などに設置される火災報知機等の点検をしています。

仕事のやりがい

黒山 都道の工事で初めて現場管理を経験。トラブルもなく無事に完了して住民から「ありがとう」と言われたのが、嬉しかったです。国家資格の2級土木施工管理技士を取得すれば工事現場監督ができるので、勉強中です。

天野 第二種電気工事士など資格

を得ることで給与に反映します。大手を目指す若者が多いですが、中小企業だからこそできる体験を通して技術を身につけることができます。

井上 働き方改革の影響もあり、今は週休2日で労働条件も改善。

自身の働きで住民生活が向上する達成感がこの仕事の魅力です。

山田 公共施設やオフィスなどで、

女性しか入れない部屋もあります。そんな時、「女性の点検員でよかった。」と感謝されることもたびたびです。

丸山 一般家庭での作業が多く、

女性も行くことで、「並木さんに頼んでよかった」と喜んでいただけるのが、やはり嬉しいですね。

市民が困ったときの業者探し

並木 ふだんは縁のない工事業者だからわかりにくいでしょう。困りの際は、市の住宅建築なんでも相談や商工会に問い合わせてください。

羽三協

- ❖目的 会員相互の親睦、技術向上、福祉の増進を図り、災害に対し一致協力して地域に貢献すること
- ❖加盟要件 羽村市指定上下水道工事店組合、羽村市電気工事業業組合、羽村市建設防災協力会のいずれかの会員もしくはその他の建設業
- ❖会員事業所 26社
- ❖連絡先 555-6211(羽村市商工会内)

インタビューを終えて

半年ほど前、水道メーター検針で漏水が見つかり、水道業者名簿の中から電話をしたらすぐ来て修理をしてくれた。水道料金減免の手続き方法も教えられ、地元業者の有難さを実感。気候変動で災害も頻発しているだけに市内業者、羽三協の存在は心強く思った。

お忙しいところご協力いただき、ありがとうございました。

さい。市内の指定業者などを紹介してくれるので、そこから選べると思います。その後のメンテナンスも近隣ならすぐに対応できます。

今後の課題、展望を

井上 資材費や人件費の高騰、働き手不足など事業所の課題は山積みです。一方で、私たちも経験を積むことで技術を成長させてきました。IT化で重機の無人操縦やドローンなども利用することになると若者の知識も必要になってきます。両者の知恵や協力により、また、羽三協の中でも情報共有など今後も協力しながら、羽村をより住みやすい地域に発展させたいと思います。

三つの投資に重点を置いた

決算を認定

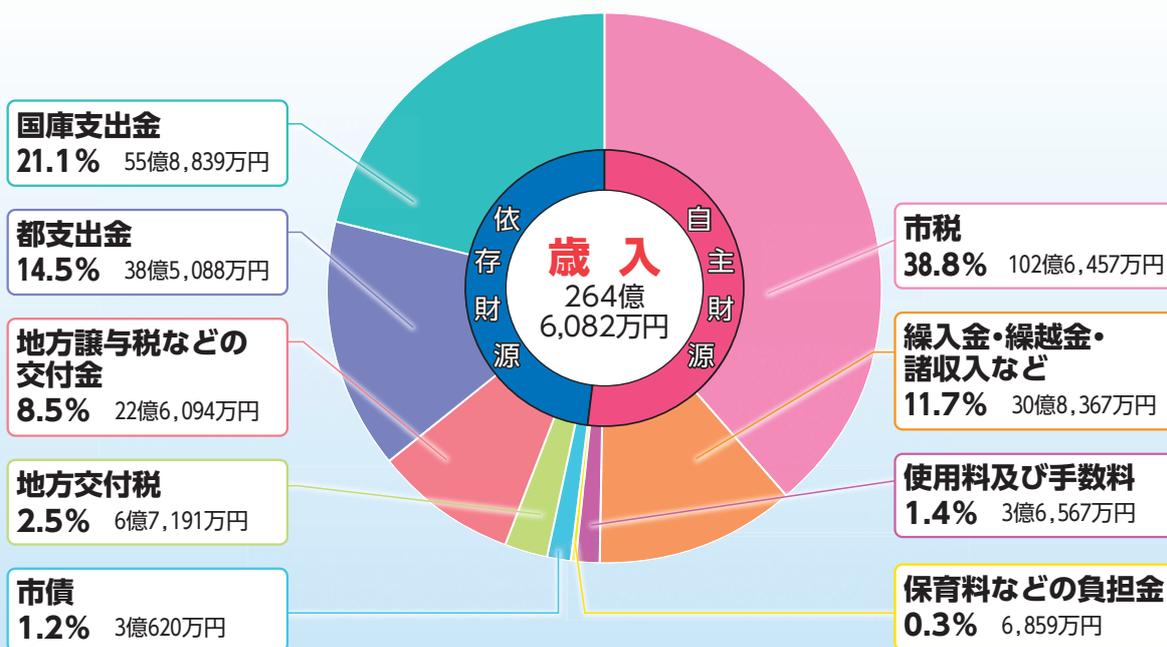
9月18日～20日の3日間にわたり、令和5年度一般会計等決算審査特別委員会を開催しました。(馳平耕三委員長、山崎陽一副委員長)

市長から提出された前年度の一般会計、特別会計及び公営企業会計の決算の認定に係る議案を審査し、すべての会計の決算を認定すべきと決定しました。

審査結果を9月27日の本会議で報告し、7つの会計すべてを認定しました。特別委員会での審査の概要をお知らせします。

一般会計

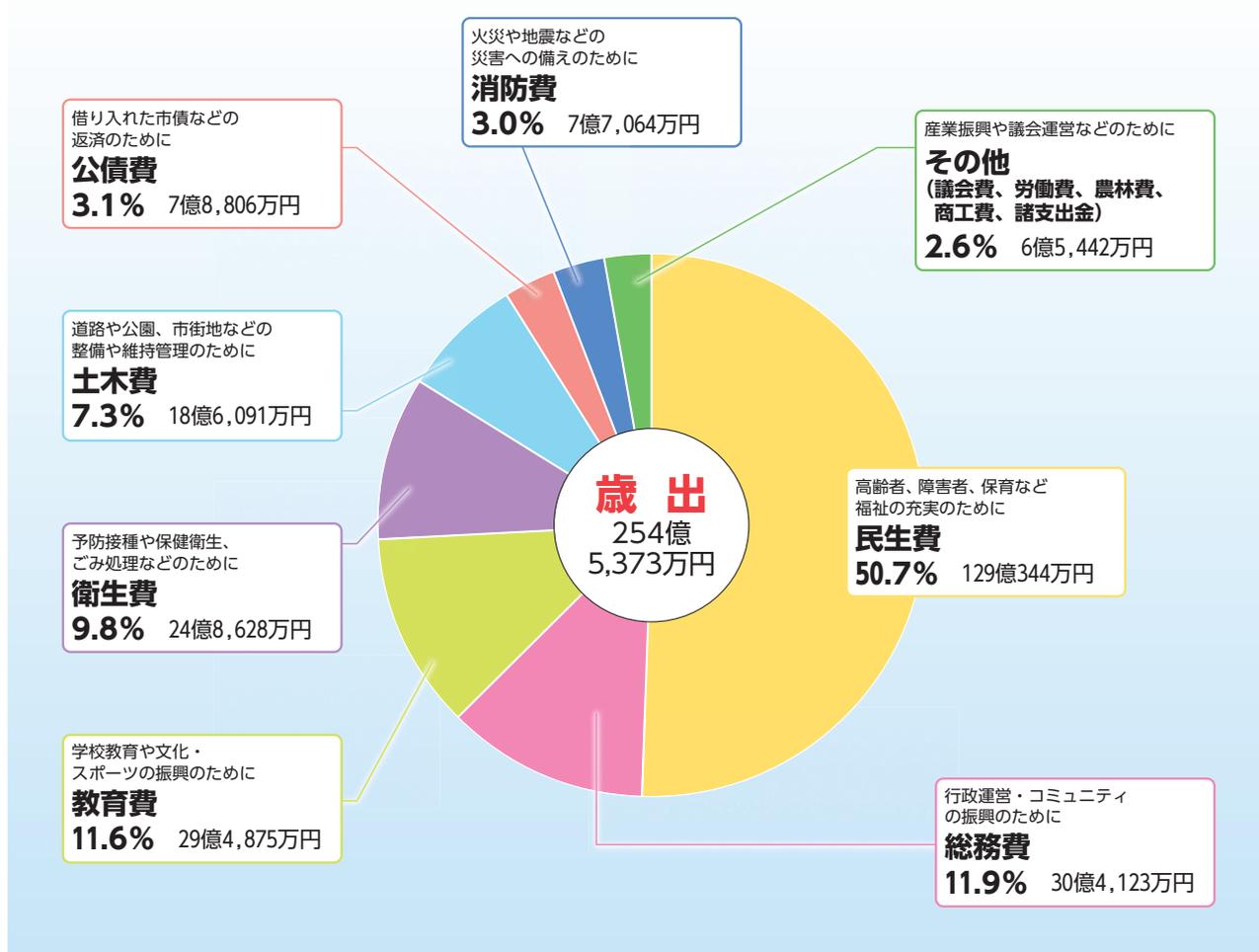
経常収支比率 **98.5%** (前年度比2.9ポイント↑)
 市税等が減少し歳入が前年度より減少した一方
 社会保障費等の増加で歳出は増



令和5年度会計別決算状況

(単位: 万円)

区分	予算現額	歳入決算額 (実際の収入)	収入率 (予算現額に対する歳入の割合)	歳出決算額 (実際の支出)	執行率 (予算現額に対する歳出の割合)	歳入歳出差引額	
一般会計	2,685,953	2,646,082	98.5%	2,545,373	94.8%	100,709	
特別会計	国民健康保険事業	604,331	590,615	97.7%	569,249	94.2%	21,366
	後期高齢者医療	153,164	153,456	100.2%	151,363	98.8%	2,093
	介護保険事業	424,774	421,154	99.1%	414,674	97.6%	6,480
	羽村駅西口土地区画整理事業	159,583	126,397	79.2%	116,569	73.0%	9,828



監査委員からの審査意見

決算の認定にあたっては地方自治法に基づき、監査委員からの審査意見が付されています。



左：渡辺 晃 代表監査委員
右：中嶋 勝 監査委員（議員選出）

それぞれの歳入歳出決算書、付属書類が法令に準拠して作成されているか、予算の執行は適切だったかなどを審査しました。

- 意見①** 内部統制制度の取組を評価する。更に有効なものになるよう、レベルアップを。
- 意見②** 市民・事業者・議会が現状を共有し、厳しい財政状況乗り越えていく取組を。
- 意見③** 公共施設の老朽化に伴う施設維持費が年々増加し、財政を逼迫している。
市民への丁寧な説明を続け、市民が納得できる公共施設の在り方の模索を。
- 意見④** 市役所の各部・課の業務内容等の拡大・複雑化が増している。
人材育成に注力し、ワークライフバランスを大切にしたい働き方改革の具現化を。

委員の質疑

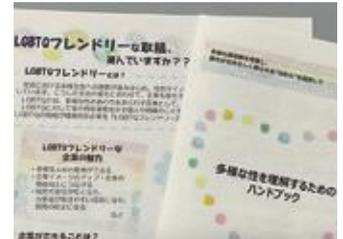
一般会計歳入

- Q 国の法人税は好調だったが、市民税法人分が低調な理由は。
- A 製造業を中心に、市内の企業の業績が低調だったためである。
- Q ふるさと納税の影響額は。
- A 市民が他自治体へふるさと納税したことによる市民税の減収額は1億3040万7000円。ふるさと納税で減収した市民税の75%は地方交付税で措置される。
- Q 令和5年度から開始した企業版ふるさと納税の寄付額は。
- A 260万円である。
- Q 東京都市町村総合交付金の算定項目の一つの「経営努力割」が、前年度比で減額となった理由は。
- A 他の自治体と比較して配分の金額が決まる仕組みであり、令和5年度は順位が落ちたため。
- Q 不納欠損額が4261万1690円もあるのはなぜか。
- A 高額滞納金額事案が完結し、また、滞納整理のDX化で、早期に徴収不能と判断ができたため。

一般会計歳出

行財政

- Q 「子供たち」「市民の安全・安心対策」「行政のデジタル化」の3つの投資に重点を置いた予算だった。予定通り執行できたとの考えか。
- A 旧自然休暇村の取壊し工事など、令和6年度に繰り越した事業もあるが、概ね予定通りに執行できたと捉えている。
- Q 公共施設総合管理計画で、建築物の総量を30%削減することが目標だが、市民への周知は。
- A 公共施設の現状や今後の目標、取組について動画を交えてわかりやすく周知を行っている。
- Q 多様な性に関する意識啓発として配布したリーフレットの内容は。



LGBTQに関するリーフレット



YouTubeで配信している公共施設マネジメントの動画



リニューアルした市公式PRサイト「羽やすめ」の市PRショップカード

- A 多様な性に関する基本事項や企業ができることなどを記載しており、周知啓発に努めている。
- Q 令和5年8月採用の職員採用試験から申込み方法の簡略化と試験内容を見直したが、効果は。
- A 令和5年度採用の応募者数は127人だったが、令和6年度採用では335人と、増加した。
- Q 超過勤務が市職員の一部に偏っているのではないか。
- A 部署ごとの状況を見ると、特定の部署が継続して超過勤務をしているわけではない。事業の実施状況等で毎年変化している。
- Q 入札契約件数と平均落札率は。
- A 制限付一般競争入札は3件、94・2%、指名競争入札は84件、94・4%、随意契約は242件、83・7%、特命随意契約は338件、99・6%。合計667件96・1%。

安全・安心

- Q 令和5年度に羽村市史本編上巻を刊行した。販売価格の根拠は。
- A 1部あたりの単価は4334円だが、既刊の資料編と同価格にすることで、多くの方に読んでいただけるよう2000円とした。
- Q 市公式PRサイトを「羽やすめ」として全面リニューアルしたが、アクセスしやすくなる環境づくりへ意見聴取は。
- A 家族写真撮影会の際にアンケートや意見交換を行っている。今後も意見や要望などを反映し、より良いものとしていく。
- Q 街路照明のLED化率とLEDによる電気の削減効果は。
- A 約80%。年間で約180万円削減できていると捉えている。
- Q 消防団員の準中型自動車免許取得補助の実績は。
- A 免許取得まで終え、補助した団員は1人である。
- Q 外来生物捕獲の内容は。
- A 市民からの情報提供後、現地調査や、わなの設置を行う。捕獲した場合は、その回収や処分を行っている。

■福祉・健康

Q 公的支援を認知していない人もいる。生理用品の無償配布への周知方法を考えたか。

A 広報はむら、市公式サイト、X(旧Twitter)、メール配信サービスや公共施設のポスター掲示も行い周知徹底を図った。

Q 子宮頸がんワクチンの接種状況、公費対象種類やその副反応は。

A 令和5年度の実績は589人。令和5年度から9価ワクチンが接種できる体制である。副反応等の報告は受けていない。

Q 新規に開始した、出産・子育て応援事業の伴走型相談支援である妊娠8か月児のアンケート送付数は。

A 132人に送付した。92人から返信があり、相談希望の方には担当地区の保健師等が対応した。



「女性の暴力追放月間」に行われている生理用品の無償配布



国が勧奨している子宮頸がんワクチンの予診票



はむら市民と産業のまつり

Q 高校生等医療費助成制度には所得制限があるが、世代の人数と制度の対象者はそれぞれ何人だったか。

A 1516人中1125人が対象となった。

Q 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムへの構築に向けた協議の場の設置状況は。

A 精神障害に関する事例検討会を発展させ、実施した。就労等の様々な課題を取り上げ、意見交換や情報共有を行っている。

■くらし

Q 農業振興に要する補助金・助成金が令和4年度と比較し、項目・金額ともに減となった理由は。

A 新型コロナウイルス感染症対策としての電力等価格高騰対策支援金などを令和5年度は予算計上

しておらず、執行額もないため。

Q 市道20002号線の無電柱化に向けた状況は。

A 現地の試掘調査と予備設計を実施した。

Q はむら市民と産業のまつりの参加者数は。

A 推定値で2日併せて11万人。

Q はむら市民と産業のまつりでアンケートを実施したが、方法は。

A 会場の来場者に任意でアンケートを取った。70%の方が好評との結果であった。

Q コミュニティセンターのエレベーターは現在使用中だが、点検で不具合は発見されていたか。

A 定期点検段階では不具合は確認されなかった。その後、経年劣化等、様々な理由で突然停止した。

Q 令和5年度でエコアクションポイント事業を廃止した経緯は。

A 対象活動が限られていた。環境配慮活動は様々あり、広く取り組んでいただくPRに切り替えた。

■教育

Q 1人1台端末の充実は。

A 自宅への端末の持ち帰りを進めた。学習支援ドリルの活用が図られたと考える。

Q 部活動の地域移行の取組は。

A 各種スポーツ団体や文化協会など29団体から地域移行への検討ができる可能性があるとの回答をいただいた。次年度以降、順次移行を進めたいと考えている。

Q スイミングセンターを活用した水泳授業を行ったが、学校のプールと比較し、費用での効果は。

A スイミングセンターは約608万円、学校プールは約141万円の経費がかかった。なお、武蔵野小学校のプールの修理には1900万円かかると見積もっている。

Q 学童クラブの入所申請をオンライン化したのが、結果は。

A オンラインの利用率は54.5%であり、好評との意見をいただいている。

Q 図書の宅配サービスの評価は。

A 一定のニーズは満たしていると評価しているが、引き続き利用周知を図っていく。



特別会計・公営企業会計

■国民健康保険事業会計

Q 短期証、資格証明書の発行状況は。

A 令和6年4月1日時点で、短期証は9世帯15人、資格証明書は17世帯23人である。

Q 国は令和2年度から繰入金に對しペナルティを課している。市は約9億5000万円を繰り入れているが、影響額は。

A 繰入金が増えたことによる保険者努力義務制度補助金の減額は、約109万円である。

■後期高齢者医療会計

Q 住所地特例に係る市区町村間の財政負担不均衡の是正に関する取組で、補助金交付金が減額している理由は。

A 国からの補助金が減額したためである。

Q 補助金が減額した理由は。

A 各都道府県の保険者が行っている事業等がポイント制になっており、ポイントの順位が低かった影響である。

■介護保険事業会計

Q 高齢者の見守り事業を締結している事業所数は。

A 30事業所である。

Q フレイル予防について、オンライン等の活用の考えは。

A 令和5年度までオンラインを活用し講習会を実施した。市公式サイトやYouTubeに動画を掲載しつつ、家から出ることも重要と考え、対面の活動を充実する。

Q フレイル予防事業をじゅうらく苑に加え、いこいの里でも実施したが、成果は。

A ベーシック体操教室は173人、筋トレマシン教室は147人利用者が増加した。



いこいの里でも実施したベーシック体操教室

■羽村駅西口土地区画整理事業会計

Q 公社への委託費が減額した理由は。

A 移転棟数が減少したため全体の事業費も減額となり、これに伴う歳入、国庫補助金等も減額となった。

Q 借入金に東京都の市町村振興基金を活用する理由は。

A 区画整理事業の事業単位での貸し付けが可能であり、利率が半分で適用できているためである。

Q 補償費は一棟当たりいくらになるのか。

A 予算段階では、移転棟数17棟で、割り戻すと1棟当たり約4360万円。実績は、移転棟数9棟で、一棟あたり平均約3990万円となる。規模や構造等の違いで補償額に差が出ている。

■水道事業会計

Q 浄水場・水源関係の使用電力量と料金は。

A 電力量は244万4268キ

ロワットアワー、料金は5013万8942円である。

Q 水道管路更新計画に沿った配水管の改修の進捗は。

A 管種替えを7件、布設替えを1件行った。羽村駅西口土地区画整理事業の関係で先送りしたものもあるが、管種替えはすべて予定通り実施した。

■下水道事業会計

Q 雨水浸透施設設置助成が1件と少ないが、どのように取り組んだのか。

A 令和5年度から新たな取組として、市内のハウスメーカーに助成事業のチラシを置いてもらい、来客者に周知してもらうようお願いした。また、はむら市民と産業のまつりでもPRを行った。

Q マンホールカードを郷土博物館と羽村市動物公園のみで配布している理由は。

A 市の観光スポットとして足を運んでいただき、市の認知度向上につなげるためである。

※内容は要約しています。詳細は会議録をご覧ください。
 インターネットで会議録をご覧になる場合は、「羽村市議会」→「会議録の検索と閲覧」
 ↓「令和5年度一般会計等決算審査特別委員会」

賛成 行財政改革への取組を評価

経常収支比率は90%台後半となり財政の硬直化が続いている。厳しい財政状況の中でも行財政改革に取り組み、第六次長期総合計画に沿って市政を進めたことを評価する。今後も新たな行財政需要の発生や経済変動に対処できるよう、また、市民サービスの低下を招かぬよう健全な財政運営に努めることに期待する。 <新国会>

賛成 地球温暖化対策などを評価

市税収入が減少し厳しい財政状況だったが、出産・子育て支援事業、学童クラブや放課後子ども教室の充実、学校施設の計画的改修が進んだことを評価する。ゼロカーボンシティ宣言や市の事務事業の二酸化炭素削減を数値化したことなども評価できる。地球温暖化防止は緊急課題でありより一層の対策強化を望む。 <市民ネットワーク>

賛成 更なる歳入確保の工夫を期待

AIコールやSMS催告等、徴収事務のDX化を進め、収納率の成果につなげたこと、企業版ふるさと納税等を導入して財源確保に取り組んだこと、経費の見直しや削減に努めながら、行財政運営に取り組んできたことは評価できる。厳しい財政状況が続いており、更なる歳入確保への創意工夫に努められることを期待する。 <双葉会>

反対 区画整理事業を見直すべき

放課後子ども教室の回数増、学校施設の改修など、評価できる施策の前進があった。一方、羽村駅西口土地区画整理事業では、「検証」の結果が示されないうちに、新たな仮住まいの人を生む事業の進展を図り、問題だ。財政難を理由に市民サービスの削減がなされたが、まずは区画整理事業の見直しを第一に進めるべきだった。 <日本共産党>

賛成 財政健全化への取組を評価

感染症による制限が順次緩和された年となり、経常経費の削減、経常収支比率の改善へ、基本方針に基づいた施策を推進した。市の将来像の実現に向けた財政の健全化への取組みを評価する。経常収支比率は98.5%と依然として厳しい財政状況である。未来の羽村市に希望が持てるよう創意工夫を考えながら、質の高い行財政サービスに期待する。 <公明党>

賛成 様々な事業の実施を評価

幼稚園や学童クラブの電子申請、スイミングセンターを活用した小学校水泳授業、コミュニティ・スクール導入、公園の指定管理者制度、コロナ後初となるはむら市民と産業のまつりの実施、行政のデジタル化など評価できる。厳しい財政状況の中、市民福祉の増進に寄与する事業内容と認められるため、賛成する。 <羽村市議会都民ファーストの会>

一般会計

委員の討論

一般会計については、委員会で6件の討論があり、採決の結果、賛成多数で認定すべきものと決定しました。

●討論とは…本会議や委員会で、表決の前に、議題となっている案件について、賛成か反対の意見を表明するということです。

賛成 効率的な事業推進を期待

羽村駅西口土地区画整理事業の推進を図りつつも、権利者に寄り添い、また、国庫補助金等の特定財源を有効活用することで、市の負担にも配慮したものとなっている。依然として厳しい財政状況下ではあるが、優先順位をつけ、計画的で効率的な事業推進に期待するとともに、魅力あるまちづくりとなることを望み賛成。 <新国会>

そのほかの会計は、反対・賛成の討論はなく、全会一致で認定すべきと決定しました。

反対 事業の完了は不可能

広い道路を造るため1000棟を取り壊す事業は必要性、実現性、住民合意が欠けており、大量のCO₂も発生させている。事業の完了は不可能。約14億円の予算の委託費は、決算で約4億円減額となった。4か年の実施計画最終年で207棟を移転予定が87棟に、委託費27億円を削減したことは理解するが、具体的な見直し案が見えない。 <世論>

羽村駅西口土地区画整理事業会計

特別会計

議案審議

■第3回定例会（9月）に市長から提出された議案は、決算認定7件、条例に関する議案3件、補正予算案6件、その他の議案8件、あわせて24件を認定・可決・同意・答申しました。

■審査した陳情9件は不採択となりました。主な議案の概要は次のとおりです。



市長提出議案

■コロナワクチンの助成や公共施設の修繕費を計上

令和6年度羽村市一般会計補正予算（第3号）

【主な内容】 歳入歳出それぞれ3350万円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ258億7630万3000円とするものです。

【議決結果】 原案可決

質疑

Q 新型コロナウイルスワクチン接種の対象者への周知は。

A 医療機関でのポスターの掲示や市公式サイト・広報はむらを活用し、周知に努める。

Q ワクチン接種の際の自己負担金額は。

A 2500円である。

Q スポーツセンター屋上防水工事の内容と雨漏り対策の今後は。

A ウレタン防水工事である。この工事では約2年間対応し、令和8年度には国の補助金を活用し、本

格的な雨漏り対策工事を行う。

■被保険者証廃止に伴う改正

羽村市国民健康保険条例の一部を改正する条例

【主な内容】 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律等の一部を改正する法律により、国民健康保険法が改正されることに伴い、条例の一部を改正するものです。

【施行日】 令和6年12月2日

【議決結果】 原案可決

質疑

Q マイナ保険証の利用率は。

A 被保険者の53・25%がマイナ保険証に登録している。マイナ保険証の医療機関での利用率は、令和6年6月診療分で10・41%である。

Q 健康保険証廃止の周知は広く、長く、行っていくべきでは。

A 広報はむらのほか、テレビはむらや市公式サイト等で周知に努める。

Q マイナンバーカードを持っていない方には、紙の資格確認書を

職権で交付するが、どのような手続きが必要なのか。

A 有効期限である令和7年9月30日までに市から資格確認書を交付する。

— 討論 —

反対 利用率が低い中で今回の改正は実質的なマイナンバーカードの義務化にほかならず反対。

(市民ネットワーク)

賛成 正確なデータに基づく診断等が可能になる。法改正に伴う改正であり、妥当。(新政会)

反対 紛失による外部利用の危険や資格確認書の負担などがある。一本化は認められない。(世論)

市民の事務手続きの負担軽減を図る法改正に伴い条例を改正

羽村市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例

【主な内容】 行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条の改正

に伴い、同条を引用する条文の項ずれに対応するとともに、市民の事務手続等の負担軽減を図るため、個人番号(マイナンバー)の取扱事務を新たに加えることから、条例の一部を改正するものです。

【施行日】

(1) 第1条の規定

関係法令に掲げる規定の施行の日

(2) 第2条の規定

令和7年6月1日

【議決結果】 原案可決

— 質疑 —

Q 改正による利便性の向上とは、具体的に何か。

A マイナンバーカードの情報連携で、転入や更新等に必要ない一部の添付資料が提出不要となる。

Q 資料は何枚減るのか。
A 基本的には所得を確認させていただく書類の削減を想定している。

■**儘田教育長の再任に同意**

教育委員会教育長の任命について

教育委員会教育長の任期満了に伴い、儘田文雄氏を教育長に任命したいので、議会の同意を求める。
【任期】 令和6年10月1日～令和9年9月30日

【議決結果】 原案同意

■**教育委員の再任に同意**

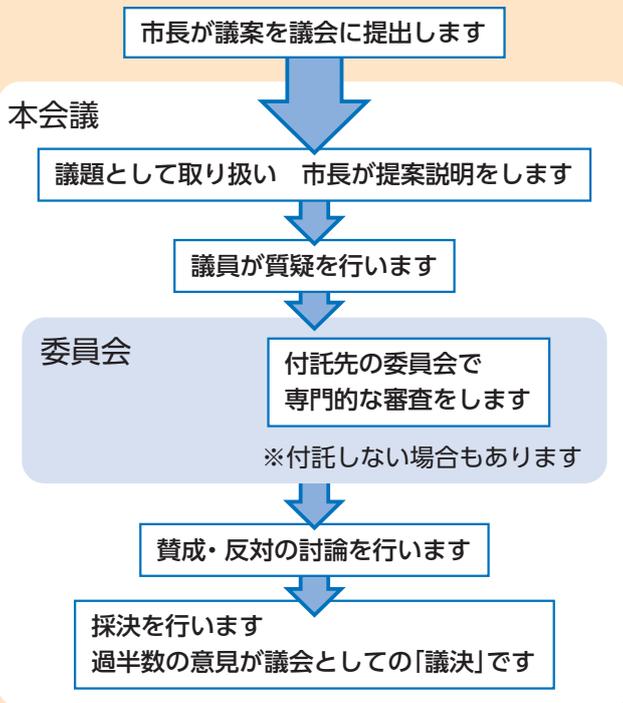
教育委員会委員の任命について(2件)

教育委員会委員の任期満了に伴い、塩田真紀子氏及び海東朝美氏を任命したいので、議会の同意を求める。
【任期】 令和6年10月1日～令和10年9月30日

【議決結果】 原案同意

議案審議の流れ

※市長提出議案の場合の一例です



本会議後、議長は議決結果を市長に送付します。これを受け、市長は条例や予算に基づき、事業を実施します。

※内容は要約しています。詳細はインターネット録画中継 (9月10日・9月27日分) でご覧いただけます。

■市長提出議案の議決結果

<第3回定例会(9月)で全会一致となった議案>

件名・概要	議決結果	件名・概要	議決結果
羽村市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用に関する条例の一部を改正する条例 →P11	原案可決	令和6年度羽村市一般会計補正予算(第2号) →歳入歳出それぞれ9億1,947万8千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ258億4,280万3千円とする。	原案可決
羽村市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例 →行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律第2条の改正に伴い、同条を引用する条例の一部を改正する。		令和6年度羽村市一般会計補正予算(第3号) →P10	
損害賠償額の決定及び和解について →羽村市立羽村第二中学校の校庭で野球部が練習していたところ、ファウルボールが学校のネットを越え、相手方の住宅の窓ガラスに当たり破損させた事故に対する損害賠償額を決定し、和解する。		令和6年度羽村市国民健康保険事業会計補正予算(第2号) →歳入歳出それぞれ2億1,366万6千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ60億2,632万5千円とする。	
損害賠償額の決定及び和解について →市が所有する崖線緑地内の除草作業を行っていたところ、使用していた刈払機の飛石により駐車していた車の窓ガラスを損傷させた事故に対する損害賠償額を決定し、和解する。		令和6年度羽村市後期高齢者医療会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ2,743万8千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ16億3,403万8千円とする。	
損害賠償額の決定及び和解について →羽村市立羽村東小学校の移動教室の際、バスで移動中にDVDを鑑賞していたところ、担任教諭が児童から呼ばれたため立ち上がった時に、頭上にあったモニターに接触し破損させた事故に対する損害賠償額を決定し、和解する。		令和6年度羽村市介護保険事業会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ7,368万7千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ44億1,748万7千円とする。	
公の施設を利用する権利に関する処分についての審査請求について →公の施設を利用する権利に関する処分についての審査請求があったため、議会に諮問した上で、裁決を行う。 【裁決の本文】本件審査請求を棄却する 【裁決の理由】指定管理者である運営委員会・組合は本件不承認の処分権限を有しているものと認められ、本件不承認の処分に違法又は不当な点は認められない。また、本件不承認は無効とはいえない。したがって、本件審査請求には理由がない。	異議ない旨答申	令和6年度羽村市福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計補正予算(第1号) →歳入歳出それぞれ9,828万1千円を増額し、補正後の予算額を歳入歳出それぞれ20億6,028万1千円とする。	原案同意
令和5年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について →令和5年度羽村市水道事業会計未処分利益剰余金3億4,644万7,477円のうち1億9,204万3,786円を減債積立金に積み立て、1億5,440万3,691円を資本金に組み入れる。			
		教育委員会教育長の任命について →P11	原案同意
		教育委員会委員の任命について(2件) →P11	

<第3回定例会(9月)で賛否の分かれた議案>

件名	会派名(数字は人数)								議決結果
	新	公	共	ネ	都	令	世	双	
羽村市国民健康保険条例の一部を改正する条例 →P10	(6)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	原案可決
	○	○	×	×	○	○	×	○	

凡例

- 各会派の賛否■ 議案／ ○…賛成 ×…反対
 陳情／ ○…採択 ×…不採択
- 会派名■ 新…新公会 公…公明党 共…日本共産党 ネ…市民ネット
 都…羽村市議会都民ファーストの会 令…令和かがやき 世…世論 双…双葉会
- ※議決結果の会派の人数には議長も含まれます。

<令和5年度決算認定の議決結果>

件名	会派名 (数字は人数)								本会議での 議決結果
	新	公	共	ネ	都	令	世	双	
	(6)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
一般会計歳入歳出決算	○	○	×	○	○	○	○	○	認定
特別会計 国民健康保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
後期高齢者医療会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
介護保険事業会計歳入歳出決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
福生都市計画事業羽村駅西口土地区画整理事業会計歳入歳出決算	○	○	×	×	○	○	×	○	
水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	
下水道事業会計決算	○	○	○	○	○	○	○	○	

■陳情の審議結果

件名	審査した 委員会	会派名 (数字は人数)								本会議での 議決結果
		新	公	共	ネ	都	令	世	双	
		(6)	(4)	(2)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	
羽村市の債務不履行宣言の撤回を求める陳情	総務委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	不採択
羽村市は「羽村市動物公園」の事業者であるか、の解明を求める陳情	環境まちづくり委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	
年1億円の動物園を市営から都営にすること等の検討を求める陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	
羽村市の公金の取扱いにおいて、二重帳簿を止めることを求める陳情	総務委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	
羽村駅西口区画整理事業の認可取り下げ勧告を	環境まちづくり委員会	×	×	×	×	×	×	×	×	
羽村市が設置者である「羽村市動物公園」の違法営業疑惑解明を求める陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	
羽村市が事業者である「羽村市動物公園」を都営にすることを求める陳情		×	×	×	×	×	×	×	×	
民間建築物に係る石綿（アスベスト）等含有調査への助成制度を求める陳情書	文教厚生委員会	×	×	○	○	×	×	○	×	
マイナ保険証と現行の健康保険証の両立を図るよう国への意見書提出を求める陳情書		×	×	○	○	×	○	○	×	

会 派 名 簿

新 政 会

さくらざわ ひろ と いけざわ あつし
櫻沢 裕人 池澤 敦
のぶき かず や あきやま よしのり
野崎 和也 秋山 義徳
たかだ かず と とみまつ たかし
高田 和登 富松 崇

公 明 党

かね こ かなこ
金子ひとみ
なかにま まさる
中嶋 勝
とみなが のりまさ
富永 訓正
いし い ひさお
石居 尚郎

日 本 共 産 党

はま なか じゅん
浜中 順
すず き たく や
鈴木 拓也

市 民 ネット ワ ー ク

ちん ま ひでこ
門間 淑子

羽 村 市 議 会 都 民
フ ァ ー ス ト の 会

はま なか とし お
濱中 俊男

令 和 が が や き

はせひら こうぞう
馳平 耕三

世 論

やまざき よういち
山崎 陽一

双 葉 会

かん ゆうしん
菅 勇真

◆会派とは、政治上の主義や政策が同じ議員の集まりで、議会活動を行う上での基礎となります。

般質問

一般質問とは、議員が市の施策の状況などについて質問することです。

第3回定例会では、

9月3日、4日、5日の3日間にわたり

16人の議員が一般質問を行いました。

その要旨をお伝えします。

※原稿は、議員自身が要約し作成しています。

※答弁内容は、9月時点のものです。



《Q》 扶助費のうち児童福祉への支出額は

《A》 43億7341万円で割合は50.4%



櫻沢 裕人 議員（新国会）

市の財政について

質問 健全化判断比率である実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率について、市の見解は。

市長 健全化判断比率から見る市の財政状況は、健全性を堅持している。

質問 安定した市税収入を得るためには、人口の維持が重要な要素の一つであると考えますが、市の見解は。

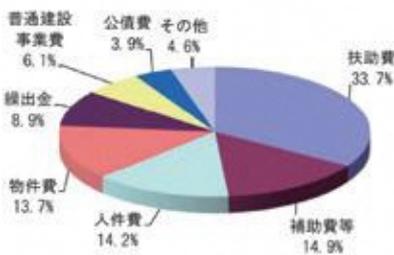
市長 人口動態は市税収入に影響を及ぼす要因の一つであると認識している。安定的な財政運営を継続していくためにも、人口の維持・減少の抑制を図っていくことは重要である。

質問 扶助費のうち、児童福祉への支出額は。

市長 扶助費のうち児童福祉に係る支出は、43億7341万円、割合は、50.4%である。

質問 出口や目標の見えない行政改革は市民に閉塞感や圧迫感を覚えさせる。行政改革の成果目標や成果を基にした新規事業の展開等、今後の展望を示しては。

市長 各年度の行政改革の対象事業の一覧や進捗状況を市公式サイトに掲載し、主要事業は実施計画にも掲載して、市民に示している。社会経済情勢が変化する中、市民ニーズや行政需要は増大するとともに複雑化・多様化しており、今後も厳しい財政運営が続くと見込んでいる。引き続き、行政改革に取り組み、成果や今後の展望を周知していく。



令和5年度決算における性質別歳出構成比(令和5年度事務報告書より引用)

その他の質問

東京2025デフリンピックを契機とした共生社会の発展について



《Q》市総合防災訓練の日程の周知を早くすべき

《A》「広報はむら」9月1日号などで周知した



高田 和登 議員（新政会）

大災害時における自助・共助の重要性について

質問 多くの市民は羽村市総合防災訓練が9月上旬の実施と考えており、遅くとも広報はむら8月15日号で周知すべきだったのでは。

市長 広報はむら9月1日号などで具体的な内容を知らせた。

質問 国や東京都の防災訓練と時期をずらすことによる弊害は。

市長 実施時期がずれることによる弊害はない。

質問 熊本市では防災士養成講座を開催し、防災士の育成を推進し、地域防災リーダーとして登録している。同様の制度を検討しては。

市長 市が登録制度を設けるのではなく、自発的な防



総合防災訓練のポスター

災ボランティアとして活躍していた多くを期待する。

質問 消防団員の報酬は責務の重さと比較して少額と感じる。市の見解を問う。

市長 適正な水準であると考ええる。また、令和5年4月に出勤報酬を新たに設けた。

質問 消防団本部などとの意見交換は。

市長 消防団と意見交換を行った。いただいた意見を踏まえ、女性消防団員が更に活躍できるよう検討する。

質問 学生消防団活動認証制度の周知を。

市長 市公式サイトや広報はむらで、企業への呼びかけや、制度のPRを行った。

質問 防災リーダー講習会が市公式サイトから検索できない理由は。

市長 町内会連合会が実施し、町内会・自治会会員が参加する講習会であるため。



《Q》火山災害対策の作成スケジュールは

《A》「東京都地域防災計画・火山編」の修正後に実施



石居 尚郎 議員（公明党）

富士山噴火降灰対策を急げ

質問 羽村市地域防災計画の火山災害対策の作成スケジュールは。

市長 「東京都地域防災計画・火山編」の修正を踏まえ、計画の火山災害対策を修正する。

質問 富士山噴火時の市の降灰予測は。

市長 東京都の指針では、2 cmから10 cm程度以上の降灰の発生を予測している。

質問 電力等の影響は。

市長 降雨時に3 mm以上の降灰で停電の可能性がある。

質問 交通インフラへの影響は。

市長 道路は、乾燥時には10 cm以上で自動車は通行不



宝永の大噴火から約300年間噴火していない富士山

能。鉄道は微量の降灰で地上路線の運行が停止する。

質問 物資や人への影響は。

市長 道路交通の支障で配送困難となり、生活物資の入手が困難になる。

質問 火山灰処分の工程や民間との連携体制は。

市長 内閣府で年内に降灰対策のガイドラインがとりまとめられる予定。都や国の取組を参考に、より適切で迅速な対応が図れるよう、取り組んでいく。

水難事故から命を守る

質問 学校でのプール指導で、安全対策をどのように図っているのか。

教育長 小学校在籍中に、全ての児童が着衣泳を行っている。水難事故から児童・生徒を守るための指導の一層の充実を図るため、ライフセービング協会等の関係団体と連携し、事故を未然に防ぐ取組について検討していく。



《Q》スポーツセンターホールへ速やかに冷房の設置を
《A》大規模改修工事と併せて検討している



中嶋 勝 議員（公明党）

スポーツセンターの
冷房設備設置等について

近年の猛暑の中、冷房設備がなく、老朽化で雨漏り等の不具合箇所もある。修繕が必要と指摘した。

質問 雨漏りで使用禁止になると聞く。修繕の見込みは。

教育長 補助金を活用した大規模改修工事に向け、関係部署と調整している。

質問 冷房設備設置について利用者からの声は。

教育長 羽村市スポーツ協会から、毎年度設置を求めざる要望が出ている。

質問 速やかな設置へ向けた計画を。

教育長 大規模改修工事と併せて第1・第2ホールの



冷房設備設置と大規模改修を検討している羽村市スポーツセンター

空調設備の新設を検討している。

質問 太陽光発電装置の導入も望むが。

教育長 大規模改修工事と併せて検討する。

質問 指定管理者制度は、施設整備の充実と合わせた導入が望ましいと考えるがどうか。

教育長 スポーツ推進審議会から施設改修後に導入すべきとの意見があることから、工事・空調設備の新設を実施できるように、取り組む。

**孤独・孤立対策へ
地域の見守り体制再構築を**
単身高齢者世帯等の増加や見守る側のなり手不足などの課題が生じている。地域の見守り体制を質問した。

質問 小地域ネットワーク活動の助成金の増額や地域人口割での支給を。

市長 行財政改革に取り組んでいる現状での増額は難しく、人口割も慎重な議論が必要である。

※ヒアリングフレイルについて
自治体で広がるヒアリングフレイル事業をどのように認識しているか。



《Q》戦後80年の節目へ。平和への取組は
《A》市民が平和について考える機会を創出していく



金子 ひとみ 議員（公明党）

戦後80年の節目へ、
次世代へつなぐ平和啓発を

質問 来年は戦後80年の節目を迎える。市として平和への取組をどう進めていくのか。

市長 令和5年4月に多摩地域26市の首長により「平和首長会議東京都多摩地域平和ネットワーク会議」を設立した。市域を超えて連携し、平和関連事業に関する情報発信や相互交流事業を通じて取組を進めている。

加えて、市独自の平和啓発事業を充実させることで、市民が平和について考える機会を創出していく。

市は災害に備え、防災・危機管理の知識や経験があり、気象の知識を有する専門人材を任用した。

質問 専門人材を任用したが、その専門性はどのように生かされたのか。

市長 「風水害・雪害時の活動態勢」については、防災安全課主幹の経験や知見に基づき、配備する職員の態勢を見直すなど、これまでより迅速な初動を取ることでできる態勢に修正した。



市独自の平和啓発事業「平和の企画展」

※ヒアリングフレイルについて

質問 自治体で広がるヒアリングフレイル事業をどのように認識しているか。

市長 高齢者の聴覚機能の衰えについては、早期に発見し、医療機関での診察・治療を受けることにより効果が期待できるものと認識している。

**災害への
対応力強化について**
市は災害に備え、防災・危機管理の知識や経験があり、気象の知識を有する専門人材を任用した。

質問 専門人材を任用したが、その専門性はどのように生かされたのか。

市長 「風水害・雪害時の活動態勢」については、防災安全課主幹の経験や知見に基づき、配備する職員の態勢を見直すなど、これまでより迅速な初動を取ることでできる態勢に修正した。

※ヒアリングフレイルについて
フレイル（身体の衰え）の一つ。聞き取る機能の衰え・耳の虚弱のこと。

※ヒアリングフレイルについて
自治体で広がるヒアリングフレイル事業をどのように認識しているか。



《Q》電子図書館開設の考えはあるか

《A》費用対効果を見極め、導入について判断する



濱中 俊男 議員（羽村市議会都民ファーストの会）



プリモライブラリーはむらでのおはなし会

電子図書館開設に向けて
質問 電子図書館の意義は、
教育長 最も大きな意義は、図書館に來なくても24時間365日借りられること。
 そのほかのメリットに、貸出・返却・予約業務の自動化や小・中学校の朝読書の活用などが挙げられる。
質問 第四次羽村市子ども読書推進計画では、電子図書館の充実を掲げている。電子図書館開設の考えは。
教育長 初期費用やランニングコスト等の調査研究を行っている。費用対効果を見極め、導入について判断する。

羽村駅西口土地区画整理事業の推進に向けて

質問 駅前広場の早期整備が望まれるが準備状況は。
市長 6か年の事業範囲の移転協議を着実に進め、権利者のご理解・ご協力をいただき、移転・工事を行う必要がある。権利者に寄り添った説明と建物等補償調査を実施している。
学校給食費無償化について
質問 東京都で学校給食費無償化を行っている自治体は。
市長 12団体であると把握している。
質問 学校給食費無償化を実施する考えは。
市長 8月29日に東京都に対し、国による無償化の実現までは、多摩地域26市すべてが取り組めるよう、補助制度の拡充等を要望した。国に対しても、未来を担う子供たちが、住んでいる自治体により教育格差が生じることがないように働きかけていく。



《Q》タクシー補助制度や、はむらんの一部デマンド化を

《A》先進事例や運用状況などを、調査・研究する



富永 訓正 議員（公明党）



市内を走るコミュニティバス「はむらん」
（市公式サイトより）

これからの地域公共交通の在り方について
 市内の公共交通の在り方を経済性、利便性、福祉的な観点から、改めて見直しを。
質問 福祉的視点からタクシー補助制度等の拡充や、はむらん、ふれあいキャリートの一部デマンド化の検討を。
市長 タクシー費用助成事業は一定の支援を行っている。デマンド型交通の在り方などは、他自治体の先進事例や運用状況などを、引き続き調査・研究する。
質問 ベンチャや屋根のあるバス停に改善するために課題を整理し、実現を。
市長 設置可能な箇所について優先順位を付し、ベン

子や上屋の設置を検討する。子育て家庭のサポートと母子保健の充実を

質問 ※産後ドウーラの活用や資格取得者の支援を。
市長 有資格者からの協力があれば連携したい。現時点で費用助成は考えていないが、全ての妊婦・子育て家庭が安心して子供を産み育てられる支援に取り組む。
質問 母子健康手帳のデジタル化に向けた状況は。
市長 国は母子保健DXの取組方針を明らかにした。動向を注視する。
質問 低出生体重児に向けた状況を聞く。
市長 「NICU退院支援手帳」を希望者に配布。子供の成長・発達や医療的ケア等の記録・健康管理等に役立つ。要件に当てはまる場合は、治療の医療費自己負担の一部を市が助成している。

※産後ドウーラ：産前・産後の女性に寄り添い、より充実した家事や育児など様々なサポートをしてくれる専門家
 ※NICU：新生児集中治療室



《Q》羽村市総合防災訓練はどのように行う予定か

《A》「地震災害発災対応型訓練」として実施する



秋山 義徳 議員（新政会）

羽村市の

今後の防災について考える

質問 令和6年度羽村市総合防災訓練はどのように行う予定か。

市長 立川断層を震源とする地震を想定した「地震災害発災対応型訓練」として実施する。仮設トイレ等の設置や避難所用Wi-Fiの立ち上げ、ペットの受入等の訓練を計画している。メイン会場の武蔵野小学校では、揺れを発生させる車両による地震の疑似体験や、はしご車搭乗体験、陸上自衛隊によるカレーの炊き出し訓練、避難所親子宿泊訓練等を計画している。



今年度総合防災訓練メイン会場の武蔵野小学校

質問 熊本地震では、プラ

イバシー確保等の観点から車中避難を選択する市民が多く存在し、大きな駐車避難場所が必要となった。市は車中避難の避難場所をどのように考えているか。

市長 東京都では、「東京都震災対策条例」において、震災時に避難する場合、路上の混乱と危険を防止するため車両による避難を禁止している。市も、車中泊を原則認めていないが、感染症流行時においては、避難所での感染拡大防止のため、車中泊の受入体制を整備することとしている。車中泊の場所は、具体的に定めていないが各指定避難所の校庭等を想定している。



《Q》若者らによる迷惑行為にどう対応したか

《A》地域の皆様、警察と安全パトロールを実施



馳平 耕三 議員（令和かがやき）

若者らによる迷惑行為に

どう対応するか

質問 羽村駅周辺で若者らの迷惑行為が増加していることを認識しているか。

市長 バイクでの騒音、ごみやたばこをポイ捨てしている等の情報が、馳平議員や市民からあり、現地確認し、状況を把握した。

質問 毎日のように迷惑行為が目立ち、夕方以降、女性や子供たちが駅周辺を歩くのが怖いという声をよく聞く。迷惑行為に市はどう対応してきたか。

市長 情報提供を受けた後、市民パトロールセンターはむらにパトロールの強化を依頼した。また、地域の皆



市民、福生警察署、市の担当職員が協力し、駅周辺のパトロールを行った

様、福生警察署、市の防犯担当職員で安全パトロールを実施した。

質問 迷惑行為の背景にあるものは。また、居場所のない若者の声を聞いているか。

市長 子どもの居場所づくりが求められる背景に地域の繋がりの希薄化、子供同士が遊び、育ち、学び合える機会の減少、家庭での子育ての孤立化などがある。今回の若者も同様の様々な要因が考えられる。聞き取りでの要因の把握は行っていない。

質問 東京都の迷惑防止条例の暴力的不良行為とは。また、違反した場合の処罰は。

市長 第5条第2項の粗暴行為・ぐれん隊行為等の禁止にあたる。違反した者は6月以下の懲役又は50万以下の罰金となる。

■その他の質問
羽村駅西口の現状について問う／一人一人の人権と尊厳を大事にする「いのちの政治」を目指してはどうか



《Q》なぜ、市非正規職員のボーナス月数は正規の半分か

《A》来年度から勤勉手当も支給していく考え



浜中 順 議員（日本共産党）

市非正規職員のボーナスは国の指導どおり増やすべきでは

市内の羽村市を含む都内8市町村で、非正規職員のボーナスの支給月数が、正規職員と同じはずが、約半分の月数であることが新聞で報じられた。

質問 国が正規職員と同じ月数で支給するよう自治体に通知していたが、なぜ約半分にしたのか。

市長 現在支給している期末手当に加え、来年度から勤勉手当も支給する考えである。

市民の願いに応える

公園の維持管理を

市内の公園は指定管理者



市内の公園

制度導入後、管理状況が悪くなったとの意見を多数聞いている。

質問 公園の仕様書では、年間の除草回数は1回以上が57公園、2回以上が21公園、3回以上が5公園である。これでは利用しやすい状態を保てないのでは。

市長 昨年度の除草回数は94回。このほか、市職員の除草作業と公園ボランティアの協力も得ている。

酷暑対策の強化を

生活保護受給者から、電気代が心配で冷房が使えないという声を多く聞いている。

質問 気兼ねなくエアコン

が使えるよう、冷房費加算を国や都に強く働きかける必要があるのでは。

市長 市長会を通じ、冷房機器購入費用の支給対象拡大や使用経費分の上乗せ支給を要望している。



《Q》多摩川で水難事故が発生。今後の防止策は

《A》事故現場付近に新たな注意喚起看板を設置



野崎 和也 議員（新国会）

人口減少時代に向けた進取の気性に富んだまちづくり

子供たちの命を守る対策を7月に多摩川で水難事故が発生した。

質問 毎年、PTAの皆様が河川敷パトロールと看板の不具合確認をしている。今後は看板の設置も含め、水難事故防止のため、市が中心となり、より有効性のある注意喚起を。

市長 水難事故の発生現場付近へ新たな注意喚起の看板を設置した。

自転車駐輪への対策を

質問 羽村駅から西口第二自転車駐車場へ続く通路に放置自転車が増加し、通行の妨げとなっている。市の見解は。

市長 駐輪禁止区域に駐車する自転車が減らない。近隣の自転車駐車場の利用を促す対策を講じる。

質問 子ども食堂を増やすため公共施設を活用できないか。

市長 子ども食堂は、地域の子供たちの貴重な居場所であると承知している。広く一般に貸出している施設であれば施設の利用目的・条件に合わせた活用は可能である。

公共交通について

質問 はむらんコース内でバス停標識が無い場所での自由乗降区間を検討しては、**市長** 多くの課題があり、実施は難しい。

質問 公共交通を補完しうるコミュニティサイクルに対する市の見解は。

市長 鉄道やバスとの連携による自転車利用の促進など、持続可能なまちづくりに寄与すると認識している。



水難事故の現場付近に、新たに設置された看板



《Q》校内別室指導等へ通っていない児童・生徒の数は

《A》小学校 15 人、中学校 35 人、合計 50 人



菅 勇真 議員（双葉会）

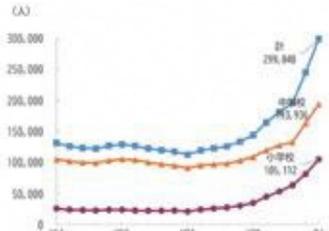
羽村市の教育について

質問 一学期中の不登校児童・生徒の中で、校内別室指導、適応指導教室、フリースクール等へ通っていない児童・生徒の数は。

教育長 令和6年度において、不登校の目安となる欠席日数が30日を超えている児童・生徒は、小学校20人、中学校51人、合計71人。そのうち、校内別室指導、適応指導教室、フリースクール等へ通っていない児童・生徒の数は、小学校15人、中学校35人、合計50人である。

住みたいまち「はむら」を目指して

質問 はむら花と水のまつりを羽村堰周辺で実施して



不登校児童生徒数の推移(文部科学省「令和4年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査結果の概要」より引用)

いた頃の来場者数は。

市長 「さくらまつり」は平成31年度まで、羽村取水堰周辺を会場に開催していた。実行委員会から、平成31年度の来場者数は11万5000人と報告を受けている。

市民の声について

質問 あさひ公園の管理は、指定管理者が週2回行っているとのことだったが、改善されていないと多くの方から聴いている。管理作業がどのように行われているのか。

市長 指定管理者が市内各公園を週2回以上点検し、公園の状況を把握するとともに、適宜、除草や樹木の剪定などの維持管理作業を実施している。



《Q》区画整理は茨の道。エリアVの除外決断を

《A》事業区域から一部を除外することは困難



鈴木 拓也 議員（日本共産党）



羽村駅西口土地区画整理事業の検討エリア分布図(羽村駅西口地区の都市基盤整備に関する検討報告書より)

西口区画整理の継続は茨の道。まずは検討エリアV(羽東2丁目)の除外を決定すべきでは

質問 今年度から6年間の計画のペースで区画整理を継続すると、完了まであと何年かかる計算になるか。

市長 現時点で、完了時期をお答えすることは困難である。

質問 物価高の影響で事業費が大きく膨らんでいると聞く。内訳はそれぞれ何%ほどの上昇か。

市長 内訳ごとの上昇率をお答えすることは困難である。

質問 市債だのみの計画となっているが、現在の残高

と、総額は最大いくらになる見込みか。

市長 令和5年度末で約32億9900万円である。総額の最大値は、100億5800万円を見込んでいます。

質問 区画整理の継続は茨の道。まずは、羽東2丁目の1000円ショップ付近の検討エリアVを事業範囲から除外する決断をすべきではないか。

市長 事業区域から一部を除外するためには、地区全体の換地設計の見直しが必要になる。事業全体が中断し、期間が長期化することなどから、困難だと判断した。

オスプレイの墜落防止対策はまったく不十分ではないか

質問 安全対策は不十分で、オスプレイの飛行再開は時期尚早ではないか。

市長 住民の不安が解消されるよう、適切に対応していく。



《Q》情報発信の拠点として図書館の今後の整備方針は

《A》資料の収集提供等、読書環境の向上である



門間 淑子 議員（市民ネットワーク）



情報発信の拠点-羽村市図書館

持続可能な社会を目指し

図書館の充実を

質問 図書費が5年連続で減少している。理由は。

教育長 財政状況を踏まえ、図書、視聴覚資料、ハンデイクリップサービス用資料、新聞、雑誌を含めた図書資料購入費は、結果的に減少傾向が続いている。

質問 新聞・雑誌などのタイトル数は多摩26市の公立図書館で最少だが、利用者からの声は。

教育長 昨年度の雑誌に関するアンケートでは、綺麗に並べられている、種類が多い、タイトル数を増やしてほしい、これ以上の削減はしないほしいとの意見があった。

があった。

情報発信の拠点として

質問 図書館の充実が求められている。今後の整備方針は。

教育長 図書館資料の収集及び提供、レファレンス機能の強化、電子図書館や自動貸出システムの導入等の調査研究を始めとする読書環境の向上、の3点である。

空き家をつくらない

取組を進めよう

質問 空き家の実態調査は。

市長 令和3年度の調査で243件の空き家を把握した。

質問 調査結果を対策に反映しているか。

市長 毎年状況確認を行い、適正な管理が行われていない空き家は職員が現地を確認し、所有者や相続者へ是正を求めている。

質問 空き家をつくらないための今後の取組は。

市長 空家等対策計画の策定に取り組む。



《Q》6か年実施計画に並行し、見直しを進めては

《A》6か年の後半から次期事業範囲の検討を行う



山崎 陽一 議員（世論）



地権者は、移転交渉拒否の看板で意思表示

区画整理撤回要求第69弾

質問 「引き続き区画整理で行い事業費、事業期間を削減するとは42ヘクタールの970棟を移動させての事業完了か」との質問に、

「全域ではない。現計画は残り期間や事業費面で非常に厳しい。6か年実施計画での優先事項3点の効率的整備が事業費、期間の削減になる」という。全域でないことを再確認する。

市長 現行事業計画で事業を行うこととしたため、施行面積は42ヘクタール。

質問 計画変更すると工事中断になるというが、6年間の計画と並行して見直しを進めては。

市長 事業進捗状況を捉え、6か年の後半から次期事業範囲の検討を行う。

質問 事業区域から外せば補助金を受けず、都区部の整備基準に添う必要はない。事業費、期間短縮の最善策だが、なぜしないのか。

市長 除外には事業計画変更が必要。地区全体での換地設計のため手続きに数年かかり事業中断となる。

質問 区画整理を検討した頃の経常収支比率は57・8%で全国有数の富裕自治体。最近では100%超えまで悪化。30年後の人口は3万7355人まで減少する予想でも拡大型まちづくりを進めるなら市の将来像は。

市長 第6次長期総合計画は10年先を見据えて作成。社会経済状況は変化できる魅力ある街になるよう努力する。



《Q》東京多摩島しょ移住定住フェアの参加は

《A》PRチラシ等を配布する方法で参加した



池澤 敦 議員（新政会）



羽村堰周辺はサイクリストの姿も多い

移住・定住について
質問 東京都が開催する「東京多摩島しょ移住定住フェア」について、市は情報を得ていたか。また、参加を検討したか。
市長 東京都が設置している「多摩島しょ移住・定住促進連絡会議」で情報共有が図られている。羽村市の人口移動は、隣接する自治体が最も多く、次に、多摩地域の自治体となる。都心部でのプロモーション活動は、大きな効果が期待しづらいため、市のブースを出展する方法ではなく、PRチラシ等を配布する方法で、令和5年度、令和6年度ともに参加した。

羽村堰と多摩川の水辺の活用について

質問 多摩川河川敷や玉川兄弟像周辺等の土地を、楽器の演奏やスケートボード等の多様なアクティビティを楽しめる場にしては。
市長 多摩川河川敷や玉川兄弟像周辺等の土地については、国土交通省や東京都が管理・所有している。新たに整備し、多様な活動の場を設けることは困難である。

農業について

質問 「食料・農業・農村基本法」が25年ぶりに改正された。市はどのように市内の農業振興を図り、支援していく考えか。
市長 今年度中に国が策定する基本計画を注視するとともに、市の産業振興計画等に沿い、農業委員会や農業団体、農家の皆様との連携を密にしながら農業振興に取り組む。



／ ぜひお越しく下さい ／

タウンミーティングを開催します！

テーマ：「みんなで考えよう！はむらのミライ」

【日 時】 令和7年2月1日(土) 午後2時～4時

【会 場】 羽村市生涯学習センターゆとろぎ 創作室1(3階)
 当日直接会場にお越しください。

【対 象】 市内在住・在勤の方

【定 員】 50人

※お子様連れでの参加も可能です。保育あり(先着4人。事前申込制)



どんなことをするの？

「議会報告会」と「グループワーク」を行います。
 報告会では、もっと議会を身近に感じてもらえるよう、議会の仕組みなどを議員が説明します。
 グループワークでは、テーマに沿って市民と議員が意見交換を行い、市の未来について一緒に考えます。

【主 催】 羽村市議会

【申込み・問合せ】 議会事務局(内線412)

議会活動報告

市議会議員は、定例会や臨時会のほかにも、各々が所属する委員会や一部事務組合等に関係する会議や視察、研修などにも出席しています。

令和6年8月1日～令和6年10月31日の主な活動

8月

- 1日 ■ 三多摩上下水及び道路建設促進協議会
第1委員会
- 7日 ■ 環境まちづくり委員会市民インタビュー
(羽三協)
■ 東京都市議会議長会定例総会
- 22日 ■ 第12回議会改革推進委員会
■ 令和6年度第11回大多摩観光連盟通常総会
- 26日 ■ 第7回議会運営委員会
- 29日・30日
■ 全国都市監査委員会総会・研修会

9月

- 3日 ■ 第3回羽村市議会定例会(初日)
- 4日 ■ 第3回羽村市議会定例会(2日目)
- 5日 ■ 第3回羽村市議会定例会(3日目)
- 9日 ■ 一般会計等予算審査特別委員会(補正予算)
■ 第3回基地対策特別委員会
- 10日 ■ 第3回羽村市議会定例会(4日目)
■ 令和5年度一般会計等決算審査特別委員会
- 12日 ■ 第3回総務委員会
■ 第3回環境まちづくり委員会
- 13日 ■ 第5回文教厚生委員会
- 18日～20日
■ 令和5年度一般会計等決算審査特別委員会
- 24日 ■ 第2回多摩都市モノレール建設促進及び公共交通対策特別委員会
■ 第8回議会運営委員会
■ 基地対策特別委員会所管事務調査(総合要請・重要土地等調査法・有機フッ素化合物(P F A S)・防衛省補助事業について)
■ 第4回環境まちづくり委員会

- 25日 ■ 第5回広報委員会
- 27日 ■ 第3回羽村市議会定例会(最終日)
■ 第4回議員全員協議会
- 30日 ■ 総務委員会所管事務調査(被災地支援派遣職員報告会)
■ 令和6年第1回西多摩衛生組合臨時会

10月

- 2日 ■ 西多摩地区議長会議員研修会
■ 西多摩地区議長会定例会議
- 4日 ■ 環境まちづくり委員会行政視察(コダマコーポレーション株式会社試作部)
- 8日 ■ 第10回広報委員会
- 9日・10日
■ 第19回全国市議会議長会研究フォーラム
- 15日 ■ 第5回環境まちづくり委員会
■ 第13回議会改革推進委員会
■ 第5回議員全員協議会
- 22日 ■ 第35回東京都道路整備事業推進大会
- 23日・24日
■ 総務委員会行政視察(奈良県橿原市・奈良県吉野郡下市町)
■ 文教厚生委員会行政視察(宮城県牡鹿郡女川町・宮城県東松島市)
- 28日 ■ 総務委員会市民インタビュー(NPO法人フリースペースロビンソン)
- 29日 ■ 文教厚生委員会所管事務調査(羽村市私立幼稚園保護者連合会との懇談会)

しぎかいカレンダー

●第4回定例会(12月)の予定●

日	月	火	水	木	金	土
				11/21 陳情メ	22	23
24	25 議運	26	27	28	29	30
12/1	2	3 本会議	4 本会議	5 本会議	6 本会議	7
8	9	10 予特 (補正)	11 常任委	12 常任委	13	14
15	16	17 議運	18	19	20 本会議	

- 陳情メ…請願・陳情の12月定例会審議予定分の締切
 - 議 運…議会運営委員会
 - 常任委…常任委員会（総務、環境まちづくり、文教厚生）
 - 予特（補正）
…一般会計等予算審査特別委員会（令和6年度補正予算）
- ※会議の予定は変更になる場合があります。
詳細は議会事務局までお問合せください。

議会を見よう！知ろう！

～次の定例会は12月～

以下の方法で議会をご覧いただけます。

- 1 議場で傍聴 ライブで！**
当日、市役所4階の議会事務局にお越しください。
- 2 ケーブルテレビで生中継**
多摩ケーブルネットワーク(TCN)で、本会議の様子を生中継でご覧になれます。放送日は横のカレンダーをご参照ください。
- 3 インターネットで録画中継**
開催日の3日後(土・日曜日、祝日を除く)から、インターネットで録画中継を見ることができます。
- 4 会議録で読む**
会議終了後2か月程度で会議録がでさあがります。冊子または、羽村市公式ウェブサイトから見るることができます。

羽村市公式サイト

<https://www.city.hamura.tokyo.jp/>

羽村市議会

検索



編集後記

定例会と称される本会議は年に4回開催されます。主な開催月は3月・6月・9月・12月ですが、9月は1年間の予算の使われ方を審査し、決算を認定する議会となります。市民の皆様が納めた税金が効果的に使われたか、また、市民生活の福祉の増進が図られたかを、15人の委員で厳しく審査しました。

さて、今夏は連日の猛暑や物価高騰など市民生活が厳しさを増す中、市長から1月から給食費の無償化を行うという嬉しいお知らせもありました。今後も、市民生活に直結する様々な施策や事業について、わかりやすくお伝え出来るように心がけて、ぎかいのトビラの編集にあたっていきます。

(野崎)

【広報委員会委員】

富永 訓正(委員長)
濱中 俊男(副委員長)
池澤 敦 野崎 和也
金子 ひとみ 高田 和登
浜中 順

発行/羽村市議会 編集/広報委員会

〒205-8601 東京都羽村市緑ヶ丘5-2-1 Fax 042 (555) 0889
Tel 042 (555) 1111 (内線412~414)



「ぎかいのトビラ」は再生紙を使用しています。